

## 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

- 当資料は、金融安定化フォーラム（F S F）の報告書を踏まえ、平成20年度第1四半期の証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について記載しております。
- 米国サブプライムローン関連および証券化商品等の投資概要は以下のとおりです。

### （サブプライムローン関連）

- ・ 平成20年度第1四半期の期中・期末において、サブプライムローン関連商品への直接投資はございません。よって、これにかかわる実現損益もございません。

### （証券化商品）

- ・ 証券化商品は、住宅貸付を裏付資産としたRMB Sが大半を占めております。
  - ・ 当期において減損処理による評価損を計上したものはございません。
- また、上記の他、F S F 報告書に記載されている、市場が高リスクと考える特別目的事業体やレバレッジドファイナンスへの投資はございません。

### ①特別目的事業体（S P E s）一般

取引・残高はございません

②債務担保証券（CDO）

（億円）

	時価	含み損益	売却損益
合計	236	▲ 134	—
シンセティックCDO	235	▲ 134	—
シニア	235	▲ 134	—
CLO	1	▲ 0	—
シニア	1	▲ 0	—

- ・ サブプライムローン関連のエクスポージャーはございません。
- ・ シンセティックCDOは、クレジット市場の悪化に伴い時価が下落（含み損益▲134 億円）しておりますが、格付は引き続きAAA格を維持しております。
- ・ 商品毎の裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。
  - シンセティックCDO 裏付資産：国内外の企業を参照するクレジットデフォルトスワップ  
（延べ 600 社超の分散されたポートフォリオ）  
格 付：AAA格 100%
  - CLO 裏付資産：国内の企業向け貸付債権  
格 付：AAA格 100%

③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

取引・残高はございません

④商業用不動産担保証券（CMBS）

（億円）

	時価	参考：平成20年3月末	含み損益	売却損益
国内CMBS	830	582	▲ 1	—

- ・ 裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。
  - 裏付資産：日本国内の商業用不動産  
格 付：AAA格 64% AA格 21% A格 13% BBB格 2%

⑤レバレッジドファイナンス

取引・残高はございません

⑥その他の証券化商品等

(億円)

	時価	含み損益	売却損益
合計	49,085	183	▲ 46
ABS	48,839	186	▲ 46
国内RMBS	18,361	78	—
米国RMBS	28,660	106	▲ 45
クレジットリンクノート	246	▲ 3	—

- ・ サブプライムローン関連のエクスポージャーはございません。
- ・ 国内 RMBS は、国内住宅貸付を裏付資産としており、住宅金融支援機構債および国内銀行等が発行するRMB Sです。また、海外 RMBS は、米国住宅貸付を裏付資産としており、全てファニーメイ、フレディマック、ジニーメイのエージェンシーMBSです。
- ・ RMB Sの売却損は、通常のポートフォリオ入替えにより発生したものです。
- ・ 商品毎の裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。
 

ABS	裏付資産: 米国住宅貸付 59% 国内住宅貸付 38% 金銭債権(国内リース債権等) 4%
	格 付: AAA格 100%
	(エージェンシーMBSと最上級の短期格付をAAA格に集計)
クレジットリンクノート	裏付資産: 国内企業を参照するクレジットデフォルトスワップ
	格 付: AA格 20% A格 60% BBB格 20%

①～⑥総合計

(億円)

	時価	含み損益	売却損益
総合計	50,152	46	▲ 46

(その他)

- 投資信託・ヘッジファンド等の一部にサブプライム・A1 t-A関連の証券化商品への投資があり、ファンドへの組入比率から算出したエクスポージャーは約 20 億円、子会社等を含めた間接投資合計では約 26 億円となります。
- ファニーメイ、フレディマック等に対しては、エージェンシーMBS の他、エージェンシー債等への投資を行っており、時価 5,016 億円、含み益 102 億円となっております。

以 上